

# 令和3年度山城地方 「子どもと本をつなぐ」地域連携会議

～社会総がかりでつながり広げよう読書活動推進の輪～

読書が大好きな子どもを育て、生涯にわたる読書習慣を身につけるために、学校、家庭、地域、公立図書館等がそれぞれの立場でできることを考え、実践交流することを通して、地域が一体となって幼児・児童・生徒の読書の質と意欲を高める読書活動の推進を目的に開催しました。

令和3年11月5日（金）  
午後2時～同4時30分  
京都府田辺総合庁舎 講堂（保健所棟2階）  
読書ボランティア等 約40名が参加！



開会行事

京都府山城教育局 局長 村山 和久

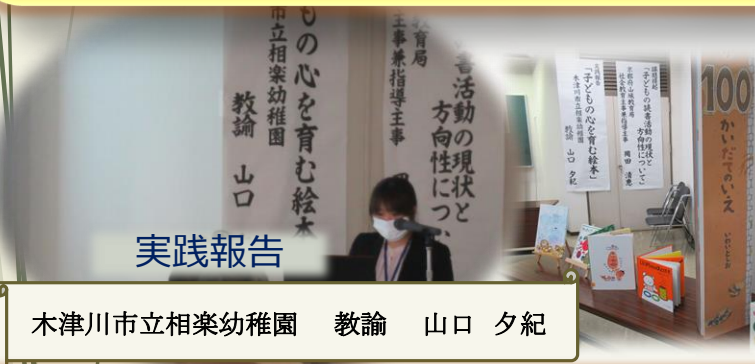


講演

滋賀文教短期大学 教授 平井 むつみ

## 講演 <参加者の感想より>

- 「ことばの力」を培う、心を育てることが読書教育のめざすものということを確認することができました。
- 「大人が楽しく本を読むこと」というフレーズがとても印象に残っています。
- 人間形成に家庭と読書のよい連鎖が不可欠であること。言葉以前に感性を育てる大事さがよくわかりました。
- 読書活動の原点が味わいのある言葉、そして様々な本の引用から説明されていて、とても分かりやすかったです。
- 一緒に本を読むことで、その子の生活スタイルや背景も知ることができ、家庭環境への問題への対策に繋がられるような気がしました。
- 「ことばの力、想像力がなければ本は読めない」この言葉が非常に印象的でした。



実践報告

木津川市立相楽幼稚園 教諭 山口 夕紀

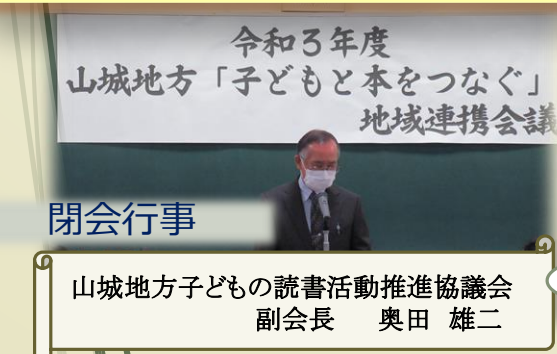


課題提起

社会教育主事兼指導主事 岡田 清恵

## 実践報告 <参加者の感想>

- 幼少期からの読書活動の大切さについて再認識させられる内容でした。
- おしつけることなく、一人一人の子どもたちの考えを大切にされているところが良かったです。
- 幼稚園の取組を聞く機会がなかったので、とても新鮮でした。
- 貴重な実践例を知ることができて、大変勉強になりました。想像力を働かせ、主体性を育むよい取組でした。



閉会行事

山城地方子どもの読書活動推進協議会  
副会長 奥田 雄二

令和3年度「本とおともだち  
カードコンテスト」「本のポップ  
カードコンテスト」優秀賞受賞  
作品展示を行いました。

